

武道科学研究センター一年報

第6号(平成5年度)

目次

発刊のことば ●日本武道館会長・武道科学センター所長 江崎眞澄

I. 平成5年度(1993.4~1994.3)のプロジェクト研究

- (1) 武道におけるターミノロジー(人文科学系)..... 7
1. Kendo Terminology: Oji-waza(1.0 Kaeshi-waza, 2.0 Uchiotoshi-waza)
- Minoru OYA, Atsuko KURODA, Mamoru TAKAHASHI,
Hisako MURAKAWA, Thomas ORR and Harold SUNOO
- (2) 武道思想の変遷(人文科学系)..... 124
1. 『軍法侍用集』の研究/『軍法侍用集』 巻第五 解題・本文・注解
- 解題・監修 古川哲史、 翻字 魚住孝至、翻字・注解 羽賀久人
- (3) 武道体験の身心論に関する生理・心理学的研究(自然科学系)..... 13
1. 高段者の武道体験に関する調査研究
- 石塚正一、田邊信太郎、樗澤隆治、大矢 稔
- (4) 武道のバイオメカニクス関連研究(自然科学系)..... 25
1. 位置記述法試論
- 大道 等
2. 武道・スポーツにおけるコンピュータ・シミュレーションによる研究
—竹刀片手振り降ろしのモデル化の試み(第3報)—
- 清水宣雄、井上哲朗
- (5) 武道における傷害の予防に関する研究(自然科学系)..... 41
1. 高齢高段位剣道師範に対するメディカルチェック
- 坂本静男、山本利春
2. 高齢剣道高段者における体力特性
- 山本利春、坂本静男、森川嗣夫、大矢 稔、井上哲朗
- (6) 運動が生体におよぼす影響、特にトレーニングと
コンディショニングから(自然科学系)..... 55
1. 長期間の体力トレーニング実施時における成功例と失敗例の追跡調査
- 1-1. 同じ内容のトレーニングによって競技力の向上した選手と
低下した選手の体力、食生活、精神面に関する調査
- 山本正嘉、田中 透、湯田一弘

1-2. 年間のトレーニングスケジュールとの関連でみた柔道選手のパワー発揮能力の推移

—入学時より1.5年間の縦断的な測定結果—

●石井兼輔、井上哲朗、金久博昭

1-3. 大学空手道部の新入部員におけるトレーニング効果

—入学時より3ヶ月間の追跡調査—

●井上哲朗、荒川尊祐、谷口有子

(7) 運動が生体におよぼす影響、特に筋機能への影響から(自然科学系)…………… 77

1. 若年期での持続的トレーニングが骨格筋ミオシンタイプの加齢性変化に及ぼす影響

●成澤三雄、黒川貞生、関 和彦

2. 跳躍のパフォーマンスを規定する要因に関する研究(第2報)

—ジャンプ運動の運動力学および生理学的観点からの分析—

●黒川貞生、奥山秀雄、関 和彦、成澤三雄

II. 武道科学研究センターを活用しての行事…………… 125